JIS

船用オイルタイトハッチカバー

JIS F 2320 : 2003

(JMSA)

平成 15 年 9 月 29 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 船舶技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	有川 彰 一	財団法人日本船舶標準協会
(委員)	岡 實	財団法人日本海事協会
	小林 修	社団法人日本舟艇工業会
	立石 学	運輸施設整備事業団
	増田 恵	社団法人日本船主協会
	近藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	山下 暁	社団法人日本舶用工業会
	渡邊 勝 世	日本小型船舶検査機構
	丸山 研 一	国土交通省
	伊藤 茂	国土交通省
	桐 明 公 男	社団法人日本造船工業会

主 務 大 臣：国土交通大臣 制定：昭和 35.7.1 改正：平成 15.9.29

官 報 公 示：平成 15.9.29

原 案 作 成 者：財団法人日本船舶標準協会

(〒171-0031 東京都豊島区目白1丁目3-8 造船技術センタービル TEL 03-3984-9051)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 杉浦 賢)

審議専門委員会：船舶技術専門委員会 (委員長 有川 彰一)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者、国土交通省海事局技術課 [〒100-8918 東京都千代田区霞が関2丁目1-3 TEL 03-5253-8111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、財団法人日本船舶標準協会 (JMSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、国土交通大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS F 2320** : 1978 は改正され、この規格に置き換えられる。

目 次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 種類	1
4. 構造, 形状及び寸法	1
5. 材料	2
6. 製品の呼び方	2
解 説	14

船用オイルタイトハッチカバー

Ships' oiltight hatch covers

1. 適用範囲 この規格は、船に用いるオイルタイトハッチカバー（以下、カバーという。）について規定する。

なお、ケミカルタンカーにも用いることができる。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0205-2 一般用メートルねじ－第2部：全体系

JIS B 0216 メートル台形ねじ

JIS F 2312 船用ちょう形締付金物

JIS F 2317 船用アレージホール

JIS F 2321 鋼製風雨密小形ハッチ

JIS F 3905 船用トグルピン

JIS F 3906 船用鎖ひも

JIS F 3908 船用鎖ひもアイプレート

JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材

JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材

JIS H 3250 銅及び銅合金棒

JIS H 5120 銅及び銅合金鋳物

3. 種類 カバーの種類は、開閉方式によってB形及びC形の2種類とし、表1による。

表1 種類

種類	呼び
B形（水平開閉式）	760
	910
	1 220
C形（ヒンジ開閉式）	610
	760

4. 構造、形状及び寸法 カバーの構造、形状及び寸法は、次による。

a) 付図1～9及び付表2による。

b) アレージホールは、JIS F 2317による。